

JEF 主催競技会における写真・動画の利用ガイドライン

昨今、スポーツ界において、アスリートの盗撮、性的目的の写真・動画の悪用、悪質な SNS 投稿が問題になっており、こうした状況を受けて、競技会における撮影制限が厳しくなりつつあります。すべてのアスリートが競技に集中し、心からスポーツを楽しめる環境を守るため、また、馬術スポーツの価値を高めるため、公益社団法人日本馬術連盟（以下「JEF」）では、主催競技会における写真・動画の利用ガイドラインを下記の通り定めましたので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

このガイドラインは JEF 主催競技会（各種目全日本大会および CCI, CDI 等。以下「競技会」）が対象です。オリンピック、世界選手権、アジア大会を含む国際競技会ならびに国内で行われる公認競技会／非公認競技会については、各大会が定めるルールの順守をお願いします。

いかなる場合も、被写体となった人物および視聴者が不快に感じる撮影・利用は禁止します。また、競技会および馬術に対するマイナスイメージを与える可能性のある写真・動画、特に人や馬の事故の様子を意図的に撮影・利用（投稿）することは固く禁止します。

また、フラッシュを用いた撮影は禁止します。ドローンやクレーン等の特殊な撮影機材の使用は原則禁止とします。撮影に不可欠な場合は個別に相談に応じます。

1. 報道目的の撮影

報道に関わる皆様には、馬術競技の魅力や選手・馬の活躍を多くの方に伝える重要な役割を担っていただいています。適切な取材活動のために、以下のルールを順守してください。

① 全体ルール

- ・報道目的の取材には事前の申請が必要です。許可された方にはパスまたはビブスを貸与します。
- ・制限エリア（一般の方はアクセスできない撮影ポイント）からの撮影は可能です。
- ・厩舎エリアへの立ち入りおよび撮影は**禁止**です。
- ・選手本人、チームスタッフ、大会役員等の行動を妨げないよう、十分配慮して撮影してください。

② 写真に関するルール

使用目的：新聞、雑誌、ウェブメディア（SNSを含む）に掲載される当該競技会関連記事への使用が目的です。

使用点数：使用点数の制限はありません。

③ 動画に関するルール

使用目的：テレビ、ウェブメディアへの掲載が目的です。

利用可能な時間：1競技あたり（例：中障害A決勝、セントジョージクラス予選）の映像利用は、合計10分を上限とします。

注意：「1大会」ではなく「1競技」ごとの制限です。

禁止事項：ライブ配信および試合全体の映像の無許可配信は**禁止**します。

10分を超える利用：特定選手の特集番組など、相応の理由で10分を超える利用を希望する場合は、事前にJEFに申請し、許可を得てください。

④ 上記以外の利用について

上記のルールに該当しない利用を希望する場合は、個別の事案ごとにJEFで検討します。

2. 選手およびその関係者が撮影する、自身および関係者の映像

選手本人またはその関係者が撮影した自身の映像、およびチーム内の人馬の映像については、撮影・利用（投稿）に制限はありません。

① 商業目的について

映像を選手およびクラブのスポンサー企業が商業目的で使用する場合、被写体が選手本人およびその関係者のみである場合、JEFはその使用を制限しません。ただし、第三者の肖像が含まれる映像については、映像使用者（企業）が、当該第三者全員に対して使用許可を得てください。

② 厩舎エリアでの撮影について

選手および馬のオーナーによる、自身または自身が管理する馬の撮影・利用（投稿）は制限しませんが、その他の者による撮影・利用（投稿）は禁止します。ただし、選手および馬のオーナーが許可を与えたグルームやその他関係者については、撮影・利用（投稿）は制限しません。

なお、撮影を目的として、厩舎エリアにアクセスできるリストバンドを申請・取得することは**固く禁止**します。

③ SNS への投稿について

- ・選手またはチーム以外の方が写り込んでいる場合は、投稿前に了解を得るなどして問題が生じないようにしてください。
- ・他者のプライバシーや肖像権を侵害しないように注意してください。
- ・競技会・イベントの品位を損なう内容は投稿しないでください。
- ・ネガティブな内容は避けてください。

3. 観客（一般の方）が撮影する映像

競技映像（アクセス制限のないエリアから撮影可能な映像）の撮影は制限しません。利用（SNS 等への投稿）は、写真・動画ともに個人的に楽しむ目的に限るものとし、番組形式で制作・投稿すること、また販売や収益化を目的とすることは**禁止**します。動画のライブ配信もできません。なお、SNS への動画の投稿については、1 回あたり 3 分以内としてください。

厩舎エリアに立ち入ることはできません。

選手本人やチームスタッフ、大会役員等の妨げにならないよう、十分に気をつけて行動してください。

このガイドラインに従っていただけない場合は、撮影中止、データ削除、会場からの退場、法的措置等を講じることがありますので、予めご了承ください。

競技参加者、観客、スポンサー、協賛企業、主催者等、すべての人が気持ち良く競技会に参加できること、また、馬術スポーツの魅力がより多くの人に伝わることを願っています。

皆さまのご理解・ご協力をお願いします。